

相談日のお知らせ

【心配ごと相談】

三光地区の民生・児童委員さんが色々な心配ごとの相談に応じます。お一人で悩まず相談してみませんか？ ※当日は行政相談員による行政相談も併せて行なっています。

(場所)三光公民館
(日時)4月2日(金)、5月7日(金)
10時～12時
(電話)43-5390

【子ども・子育て相談】

子育てや子どもに関するお悩みなど、児童厚生員が相談をお聴きします。電話相談でもお受けします。

(場所)三光福祉保健センター
※センター改修工事の為5月より三光公民館
(日時)毎週月曜日 10時～12時
(電話)43-5194

【ほっとテラス】

悩みや心配ごとで不安な毎日を過ごしていませんか？心の声を精神科医が聴いてくれます。相談希望の方は事前に予約をお願いします。

(場所)中津市教育福祉センター
(日時)奇数月第2水曜日
14時～16時まで
(電話)23-2095

【その他相談】

地域にお住まいのみなさんが抱える様々な福祉課題の相談を受け付けています。

(場所)三光福祉保健センター
(電話)43-5390



【三光版】クリアファイル配布について

今回とんぼのめと一緒に三光版クリアファイルを配布させていただいております。今年度は新型コロナウイルス感染症に不安を感じながらの生活でした。その中でも三光にある15地区のいきいきサロンは地域のつながりを絶やすまいと感染予防をしっかりと行いながら「できる形で」開催しています。また住民型有償サービスこすもすサービスは「地域に困った人がいるならば」とサービスを続けました。三光には地域を支えるところがある！相談できるところがある！！という紹介を兼ねて作成しました。是非使ってください！！



給食サービス だけのこの会

配食日：4月5日(月)、
5月10日(月)



【編集後記】

令和2年度もあと少しで終わります。コロナで始まった4月「どうなるものか？」と不安ばかりが勝っていたのを覚えています。少しでも楽しみを持てるようプチ旅行が好きな我が家は「コロナ終息後のため」に500円貯金をしていました。先日「貯金箱パンパンやない!？」とワクワクしながら家族で開けてみました。しかし、まだ半分しか貯まっておらず…「こんなに重かったのに…」と苦笑い。開けてしまった貯金箱は使えなくなったので第二弾の貯金箱を用意し新たな年度を迎えることとします。令和3年度もどうぞよろしくお願いいたします。
地域福祉推進係(三光)たかふじみほ

地域が元気になる地域福祉情報紙

とんぼのめ

発行元)

社会福祉法人 中津市社会福祉協議会
地域福祉課 三光地域福祉推進係
(中津市三光福祉保健センター内)
TEL 0979-43-5390 fax 0979-43-2594

第72号 とんぼ絵協力：はしもと まさこ
2021年3月15日発行

地域と共にある学校 わいわい福祉ひろばin深水小学校 地域の方と一緒に学びました！



2月26日(金)、深水小学校全校児童を対象に「わいわい福祉ひろば～オレンジコース～」の学習をしました。今回は人権学習会も兼ねており、地域の方々11名の参加もありました。

認知症の方の症状や気持ち、声かけの方法など聞いた後、子ども達と地域の方が一緒に「道に迷っている認知症の方に声をかける時はどのように声をかけるか」を話し合いました。実際に認知症の方に扮した社協職員に声をかける体験もしてみました。「(優しく肩を叩き)どうされましたか？まだ時間があるので一緒にあの椅子のところまで行きましょうか？」と安全な所まで誘導することができていました。2025年には高齢者の5人に1人が認知症になると言われる中、今から認知症について学びみんなで支えられる地域について考える学習となりました。たくさんの感想も聞くことが出来たのでご紹介します。

【生徒の感想】

- ・困っている人がいたら自分も助けてあげる。やさしくたいおうする。(3年生)
- ・「あのーすみません」といって近づくとこわがらせてしまわないとわかった。(3年生)
- ・やさしく笑顔でたいおうすると相手がこわがらない。(4年生)
- ・やさしく笑顔でせつすることが大切だと分かった。(5年生)
- ・対応のしかたはむずかしかったです。でも世の中には認知症の人がたくさんいるので、コミュニケーションの取り方などに気をつけようと思いました。(6年生)

【地域の方の感想】※一部抜粋

- ・知ること、学ぶことはとても大切。生活の中に活かしていきたい。
- ・認知症の方でも楽しく生活できるように私たちにできる事を考え支えて行けたらと思いました。





気持ちでつながるみんなの笑顔



～白木地区～



3月3日(水)、「白木ボランティアグループ」が白木地区の75歳以上の高齢者の方々65名に、素敵な色紙を添えてひなあられと桜餅を配られました。色紙には一枚一枚手書きで名前が書かれており、桜の花と折り紙で折られたお内裏様とお雛様が飾られていました。

当日は白木ボランティアグループの方々が訪問し手渡しでお届けしました。時々顔を合わせていてもこの日は特別な様子で受取った地域の方は満面の笑みを浮かべていました。「毎年ありがとう。去年はピンクの紙やったね。ずっと取ってるのよ。」「あなたたちと会えたら、また頑張らなっち思えるんよ。ありがとう。」と心温まる言葉を聞くことができました。



～下深水地区～



3月4日(木)、下深水ボランティアグループ「虹の会」が下深水地区の70歳以上の高齢者の方と1歳～15歳(中学3年生)まで子どもを対象におひなさま弁当を配られました。今年度は感染予防のため事前の調理は最小限のボランティアで行い、当日の作業と配布は会員全員でスムーズに行いました。虹の会は「困った時に助け合える地区になれば」と子育て世代の保護者の方との関わりも大事にしています。また代表の重並福江さんは日頃から近所の高齢者の方のお家に顔をだしたり電話をかけたりしています。「コロナで思うようにサロンもできず寂しい気持ちになる方もいるので少しでも話ができれば気持ちがスッキリするから」と言われていました。



ご存じですか？

お家にある未使用食品が!?

フードバンクnico (にこ)

中津市社会福祉協議会では令和2年5月より家庭で食べきれずに余っている食品の受付を行っています。集まった食品は、食料を必要とする世帯や地域で手作りの食事を提供しているサロン、子ども食堂に無償で提供しています。

今年度はコロナウイルス感染症拡大の影響で仕事を失ったり休業となって収入が減ったことで生活がひっ迫した方より、家計に関するご相談を多く受けると共に食糧支援も増加しています。皆さまから受取った食品は「あると助かる」方々への支援に繋がっています。

「いつ」「どこへ」持っていけばよいですか？

毎月25日9時から17時まで中津市社会福祉協議会の各事務所にて受け付けています！
三光福祉保健センターでもお待ちしております。

どんなものを受付けていますか？

玄米(令和元年以降のもの)、缶詰、レトルト・インスタント食品、乾麺、お茶漬、ふりかけ、お菓子、調味料、飲料など。
※賞味期限が2か月以上あり常温保存が可能なもの

2月25日の三光nico

市報「なかつ」や社協だより「なかつ」を見て取り組みを知った2世帯の方が約40点の食料を届けて下さいました。

「こんな取り組みしらなかった。また来月も持って来ますね」「賞味期限2か月以上あるよ」など声も頂き、知ってもらったことがきっかけで輪が広がりがつなげることを改めて感じました。ご協力ありがとうございました！

